



道元禅師所用数珠

道元禅師所用と伝わる数珠である。数珠の法量は、親玉が 3.0 cm (一顆) と 1.5 cm (一顆)、主玉が 0.9 cm (九一顆)、四天玉が 0.6 cm (四顆) となっており、玉の合計は九一顆となる。収納箱の蓋の表に「奉寄進／御珠数箱」とあり、箱底の銘に「永明禅師座下／恵門」とある。永明とは、永平寺三十世光紹智堂 (1610～70) のことであるから、これは光紹の門下である恵門が永平寺に寄進したものである。